

第 22 号

こころ

県P連だより

編集 徳島市北田宮1丁目8-68
発行 〒770-0003 ☎088-633-1105
徳島県PTA連合会

ホームページアドレス
<http://tokukenпта.com/>

自然からの警告

徳島県PTA連合会

会長 谷 明彦

日頃は、会員はじめ関係者各位には徳島県PTA連合会の活動に、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。

この度三月十一日に東北地方を中心とする東日本大震災により亡くなられた方々に哀悼の意を捧げ、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。会員の方々には、四月の、被災地への支援物資にはじまり、義援金の呼びかけにご協力いただきましたことに厚くお礼申し上げます。皆様からのご厚志は被災地の方々へお届けし、お礼の言葉を

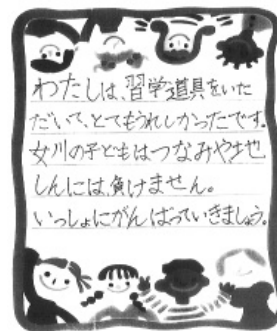
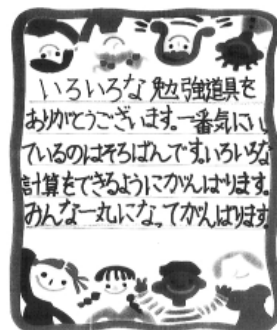


いただいております。

八月二十六・二十七日に日本PTA全国研究大会が広島県で開催され、全体会の閉会行事で相川会長より義援金の目録が渡され、東北ブロックの各県会長からお礼の言葉がありました。応援メッセージの、「がんばろう日本! がんばろうPTA!」で感動のフィナーレを迎えました。(写真)最後に歌った「ビリーブ」の八千二百人コーラスでは、広島市PTA協議会の子どもたちの歌声をリードに、会場の全員が立ちあがり大合唱しました。全国

の仲間との「絆」を感じ、そして被災地の仲間を思うみなさまの温かい心が一つになったと感じました。PTA活動の原点は単位PTAの活動だと思います。小・中学校では、子どもたちの歓声が響きわたり将来に向けて自立するために学んでいます。徳島県PTA連は、児童生徒が健やかに成長するために活動する単位PTAを支える活動とを考えております。

十月二十八日に徳島県教



宮城県女川町立女川第2小学校から寄せられたお礼の手紙

十一月二十七日に香川県で四国ブロックPTA研究大会が開催されました
平成二十四年十一月十一日(日)に徳島県で四国大会が開催

育長へ徳島県PTA連教育問題検討委員会と協議した十項目の要望を行いました。内容については別紙に掲載しております。県PTA連は、安全な教育環境をととのえるために、防災や減災への意識啓発に努め児童・生徒が安心して学校で学べる活動を推進しています。目標に対して成果を少しずつ上げるような活動とを考えております。

徳島県PTA連合会総会

去る六月九日(木)県立障害者交流プラザにおいて、県PTA連役員・郡市代議員・表彰者の方々の出席のもと、平成二十三年定期総会が盛大に開催されました。

谷明彦会長のあいさつに続き、熱心な活動をされた十三団体と二十七名の方の表彰と二十六名の方に感謝状が、そしてPTA広報紙コンクールに入賞された十九校に感謝状が贈られた。ご臨席の来賓十一名の方を代表し県議会議長 岡本

「レッツ ビギン!」今、PTAとして出来ることから始めませんか。

富治様、県教育長福家清司様、県小学校長会長向島正弘様からご祝辞をいただいた後、飯泉嘉門知事の祝電披露、片保 憲資氏の受賞者代表謝辞と進んだ。

議事に入り、平成二十二年年度の事業報告・決算報告・監査報告を承認の後、平成二十三年新役員が選出され、次に平成二十三年度努力目標、事業計画・予算案等についての協議が行われ、原案どおり承認の運びとなり、総会を終了した。

気づいてください広報紙の大切さ ～広報活動を通してP T A活動への理解と活性化！！～

1. 各校の広報活動について教えてください。(選択回答がある問は、該当する記号に○を付け、その他の場合は記述回答をお願いします。)
*複数回答可

- ① 単位P T Aの活動として広報紙を発行していますか？
ア(190)している。 イ(75)していない。



全体の約71%が広報紙を発行しています。

- ② 問①で「していない」と答えた方にお尋ねします。なぜしていないのか理由をお聞かせください。

ア(50)広報紙を作成する委員会・専門部会がないから
イ(5)P T A会費が少ないので作成することができないから
ウ(17)P T A会員が少ないので作成することができないから
エ(12)その他



発行していない理由としては、委員会や専門部会がない。またP T A会員が少ないという回答が多くあり、大規模校と小規模校の違いがうかがえます。

- ③ 学校からの情報発信としてP T Aの広報紙以外に何がありますか？
ア(199)学級通信や学級だより等
イ(178)学校通信や学校だより等
ウ(79)その他



その他の回答で情報発信として一番多かったのはHPでした。他に学年通信や保健だより、校長室だより等がありました。

- ④ P T A会員として、広報紙をもし目にしたらどのような記事に興味がありますか？

ア(87)学校の教育方針や指導方針など
イ(232)学校での子どもの様子など
ウ(134)P T A活動の様子など
エ(7)その他



学校での子どもの様子に一番関心があり、次にP T A活動の様子でした。少数意見ですが、行事予定や地域の安全・取り組み、子育てに関するアドバイスなどもありました。



2. P T Aが発行している広報紙について、くわしく教えてください。(選択回答がある問は、該当する記号に○を付け、その他の場合は記述回答をお願いします。)

- ① 広報紙は1年間に何回発行していますか？ *複数回答可
ア(22)1回 イ(70)2回
ウ(81)3回 エ(17)4回以上



3学期制や2学期制の関係で学期に1回の発行が多いようです。

- ② 広報紙の掲載内容はどのように決めていますか？

ア(114)委員会等で決める。
イ(81)毎年、だいたい掲載内容が決まっている。
ウ(6)その他



その他の回答の少数意見ですが、「P T Aと学校で協議して決定している」「P T A会員の声を集めて編集している」ところがありました。少し驚いたのは、「学校の事務局が内容を決めている」というのがありました。

- ③ 広報紙は誰に配布していますか？

ア(186)P T A会員
イ(52)地域の方々
ウ(18)その他



その他の回答では、学校評議員や市内の他校・幼稚園や保育所・児童館、賛助会員や特別会員、卒業式の来賓等、さまざまな学校関係者や地域に配布していることがよくわかりました。

- ④ 県P連主催の広報紙コンクールに応募したことはありますか？

ア(45)ある
イ(136)ない
ウ(8)その他



全体の71%は応募したことがないという回答でした。毎年コンクールの募集をしています但応募数が少ないことがこのアンケートでわかりました。

- ⑤ 問④で「イ」「ウ」と答えた方にお尋ねします。県P連主催の広報紙コンクールになぜ、応募しなかったのでしょうか？その理由をお聞かせください。

ア(41)コンクールがあることを知らなかった。
イ(14)締切日に間に合わなかった。
ウ(29)応募・審査規定外であった。
エ(54)その他

広報紙についてアンケート実施

総務・広報委員長 宮本 充

近年、社会も随分と便利な世の中になってきています、ですがそれに伴い情報も錯綜している中、どれが正しい情報なのか見極める力が受け取る側にも要求される時代でもあります。例えばインターネット、携帯電話など正しい使い方をすれば大変便利なものですが、使い方を間違えると凶器となる恐れもあります。

これからは、子供だけではなく、それを取り巻く環境作りなどもP T A活動を通して考えて行く必要があると思います。

今年度はそんな情報化社会の中でも一番アナログ的な紙を媒体とした広報紙について、アンケートを取らせていただきました。各学校からは多数の回答を寄せていただきました、広報紙をきっかけに地域とのコミュニケーションが図れたり、子供たちの活動内容を知ることができたり、各学校で色々な工夫と活用の仕方があるのだと思いました。今回の回答の中で今後の広報活動で参考にしていただければとまとめてみました。これからの広報紙作りのヒントになれば嬉しく思います。

回答を見えますと、やはりP T A活動の中で広報紙(学校だよりなど)の活用は必要なものだと思います。それとまったく皆さんの学校に県P連広報紙コンクールにも応募していただくとありがたいと思います。

最後に各校のP T A会長さんには大変貴重な回答をいただき、ありがとうございます。

広報紙には子どもたちの活動の様子や作品が盛りだくさん!!!

作り手の気持ちがいっぱい詰まっていますよ。ゆっくり、家族で広報紙を読んでみてください。きっとそこから、いろんな会話が生まれるはずです(^v^)



広報活動に関するアンケートの結果をまとめましたので、参考にしてください。(回収率は94%でした。)

広報紙を作成してよかったという意見がたくさんありました。やはり作成しているものにとって一番の喜びは読んでくれているということです。また、読んだ感想を言ってくれたり、記事が話題となることは広報紙を作成した満足感と達成感があると思えました。P T A活動の理解や活性化にもつながり、改めて広報紙の大切さを感じました。



毎年コンクールの募集についてお知らせをしているのですが、意外とコンクールがあることを知らなかったという回答が多かったです。その他の回答では、「応募する気がない」「理由不明」「コンクールに応募することが目的でないから」と辛口の意見がありました。

- ⑥ 広報紙を作成するにあたり気をつけていることは何でしょうか？(回答数161)

1 見やすく読みやすい紙面づくり(31)
2 子どもや学校の様子をたくさん取り入れる(26)
3 同じ子どもばかりにならないように児童・生徒を公平に掲載する(23)
4 写真掲載時等は個人情報に注意する(19)
5 できるだけたくさん写真を掲載する(18)
6 誤字・脱字がないよう注意する(15)
7 会員の意見を取り入れる(12)
8 P T A活動について知らせる(11)

- ⑦ 広報紙の紙面で特に力を入れているところはどこでしょうか？(回答数148)

1 子どもたちの活動の様子(35)
2 子どもたちの作品・写真(34)
3 P T A活動の様子(26)
4 読みやすくわかりやすい紙面づくり(23)
5 学校行事(14)
6 特集記事(7)
7 読みたくなるような紙面づくり(6)



子どもたちの活動の様子や作品・写真を掲載している広報紙がすごくたくさんありました。我が子の作品や写真が掲載されるとその広報紙を記念に残しておくという意見もありました。広報紙がいわゆる子どもの成長記録や思い出集のような存在になっているようです。



- ⑧ 広報紙を作成してよかったと思うことは何でしょうか？(回答数139)

1 会員に喜ばれたり広報紙完成の達成感(34)
2 P T A活動への理解と活性化(34)
3 会員の意見が聞けてよかった(27)
4 学校での子どもの様子がよくわかる(17)
5 学校・地域・保護者のつながりが深まった。連携(16)
6 会員間のコミュニケーションがはかれた(8)

- ⑨ 今後の広報紙で取り上げてみたいテーマがあれば教えてください。(回答数83)

1 防災教育について(17)
2 子どもたちの活動について(6)
3 学力や体力向上について(4)
4 P T A活動について(4)
5 地域との連携について(4)
6 食育について(4)



東日本大震災の影響で防災教育について今後取り上げてみたいテーマとして意見が多かったです。いつ南海地震等が起こるかわからないし、日頃から防災について知識を得ておくことは非常に大事なことだと思います。続いて多かったのは、保護者として興味がある子どもたちの活動についてのテーマでした。学校で子どもたちはどのように生活をしているのか？どんな活動をしているのか？授業参観や個人懇談ではわからない子どもたちの素顔が気になりますね。

- ⑩ 過去の広報紙で本校P T Aの自慢できる記事があれば添付してください。(回答数(17)添付資料数(9))

・保護者が寄稿している卒業生への送る言葉
・職員の格言や好きな言葉
(理由として職員の人柄が分かりやすいから)
・学校ですべて手作りをしている一人ひとりの思いがこもった新聞
・北海道と姉妹校との交流記事
・すべてが自慢できる記事
・校章についての記事
・わが家のエコ



～総務・広報委員会による初めての展示会～

今年度初めて、県立総合教育センターで県P連広報紙コンクール受賞校の作品をみんなでレイアウトを考えながら展示作業を行いました。県立総合教育センターには図書館や自由に使用できるパソコンもあり、展示期間は2週間と少なかったのですが、夏休み期間中だったので、子ども連れや研修で来られた教員の方が多く、たくさんの方が広報紙を見に来てくださいました。



県PTA振興大会兼会長・指導者研修会に参加して

人権・家庭教育委員長

行野 由美子

河内理恵さんの講演をうかがい感じたことは、これからの日本を生き抜くには『たくましく生きる力が必要』ということでした。

子どもたちが、たくましく生き抜くには自から学び、考え、行動する力が必要であり、同時に人への思いやりや感動する心を持った豊かな人間性が必要であると思いました。

自ら学び考えることはもちろん大切なことです。未知の世界を知るため勉強に

励み成績が良いのに越したことはありません。

私は、子どもたちが社会人になったとき社会的に弱い立場の方々へ思いやりの気持ちを持った人間に育って欲しいと思っています。

今回のシンポジウムですが、それぞれの立場から提言がありました。

このような形式もわるくはないのですが、参加者は幼稚園児から高校生の保護者や先生方です。

昨年度まで行っていた

日P全国研究大会 ひろしま大会に参加して



堀江北小PTA副会長

元木 利昭

未曾有の大震災から懸命に立ち上がろうとしている中、「がんばろう日本」をスローガンに、平和の象徴

の都市として復興を遂げた広島で、日P全国研究大会が開かれました。

初日、私が参加した第七分科会では「平和教育」をテーマに、教育サポーターとして活躍する仲島氏からは子ども達の心の平和について、女優の東ちづるさんからは、何がその人にとっての本当の幸せかについて、ボランティア活動でのエピソードも交えながら、大変貴重なお話を伺うことができました。

小・中学校で年代の近い子どもを持つPTA関係者と校種別のコミュニケーションの場が無くなった事は残念です。講演でも人とのコミュニケーションや感情を互いに理解し、気を配り、信頼関係を築くことが大切と話されていました。

人と人とのやりとりをし、会話から対話へ、相手の話を聴く、機会が無くなった事は残念でなりません。

徳島県内各PTAからの出席者と対話を望む方々もいたのではないかと思います。

単位PTAの会長は地域の行事に参加もします。九月の週末は秋祭りや運動会

の準備と忙しい時期です。研修会を開催するなら内容について、教育委員会の事務局とPTA役員が対話し、運営を考え、信頼関係を築いて開催することが、大切ではないでしょうか。対話の大切さを感じた研修会でした。

いたわり合えるような環境で育てば、子どもたちは、世の中を肯定的に捕らえ、

アメリカンディアンズの教え

子どもたちは、

こうして生き方を学びます。

批判ばかり受けて育った子は、人をけなすようになります。

いがみあう家庭で育った子は、人と争うようになります。

恐れのある家庭で育った子は、びくびくするようになります。

かわいそうだと哀れんで育てられた子は、

自分が哀れな人間だと思ってしまうようになります。

ひやかしを受けて育った子は、はにかみ屋になります。

親が他人に対して嫉妬ばかりしていると、子どもも人を羨むようになります。

侮辱したりけなしたりされて育った子は、自分に自信を持てなくなります。

励まされて育った子は、自信を持つようになります。

寛大な家庭で育った子は、我慢することを学びます。

ほめられて育った子は、感謝することを学びます。

希望を持つことができる

と、「インディアンズの教え」

で作者は言っています。

子どもたちが成長するには学校の先生や保護者、地域の人々、行政の方々に守っていただいて、たくましく、健やかに成長できると思います。

PTA活動の目標は子どもたちの健やかな成長です。

から。

心から受け入れられて育った子は、愛することを学びます。

認められて育った子は、自分が好きになります。

子どものなしとげたことを認めてあげれば、目的を持つことの素晴らしさを学びます。

分かち合う家庭で育った子は、思いやりを学びます。

正直な家庭で育った子は、誠実であることの大切さを学びます。

公明正大な家庭で育った子は、正義を学びます。

やさしさと、思いやりのある家庭で育った子は、他人を尊敬することを学びます。

安心できる家庭で育った子は、自らを信じ、人をも信じられるようになります。

和気あいあいとした家庭で育った子は、この世の中はいいところだと思えるようになります。

栄えある全国表彰

十一月二十二日、東京の

ホテルニューオオタニに於

いて日本PTA全国協議会

年次表彰式が行われその中

で団体・個人の表彰がなさ

れた。本県関係の受賞者は

次の通りです。心からお喜

び申しあげます。

日本PTA全国協議会会長

表彰・団体

吉野川市立山川中学校PTA

徳島市八万小学校PTA

日本PTA全国協議会会長

表彰・個人

県P連元副会長

石川 圭一(藍畑小P)

県P連元副会長

鎌谷 浩司(阿南中P)

県P連元監事

元木 利昭(堀江北小P)

県P連元理事

東尾 崇(半田小P)

徳島県PTA連合会

◆事務局

〒770-0003 徳島市北田宮1丁目8-68 徳島県教育会館内

TEL(088)633-1105 FAX(088)633-1153

http://tokukenpta.com/

◆事務局の構成

事務局長 中西 由佳

平成 23 年度 県 教 育 長 要 望 事 項

I 子どもの安全・安心に関する要望

1 いじめと不登校に関する問題と課題

- ①全国状況との比較及び傾向について具体的に示すとともに、本県での校種別のいじめ・不登校者の現状と、平成 19 年度から平成 21 年度の内容の細分化についてもお聞かせ願いたい。また、いじめが起こらないようにするための取り組みや、過去に起こった問題や対処方法を具体的な例をあげて教えていただきたい。
- ②いじめ問題に対して、学校と家庭、教育委員会が連携を図り、子どもたちのサインを見逃さないような体制づくりを要望する。

2 各種疾病・感染症の危機管理体制や対応策の充実

- ①学校におけるインフルエンザ、食中毒等の衛生管理対策について伺いたい。
- ②麻しん接種については、学校と市町村の連携を図り、子どもたちへの説明や保護者への周知を要望する。

3 防災・環境整備の促進

- ①徳島県内の小・中学校の耐震診断結果をもとに、学校施設等の耐震・改修整備を継続して行うように市町村に対して支援いただくよう要望する。
- ②地震や津波等、自然災害に対する防災・減災教育をどのような観点で意識啓発し、推進するのか伺いたい。
- ③学校避難所運営マニュアルの(被災者対策)早期策定を要望する。
- ④学校と地域(自治会や自主防災会)と連携した防災・減災の協力体制を図り、被災時の対応策の早期策定を要望する。
- ⑤沿岸部の小中学校の津波対策として、避難訓練の見直しや、高所避難場所の設置を要望する。

4 児童・生徒の通学の安全確保と不審者対策

- ①児童・生徒の通学の安全を確保するために、どのような取り組みをしているのか伺いたい。
- ②不審者から児童・生徒を守るために、学校・家庭・関係機関が不審者情報を共有し、被害の未然防止を図ることを要望する。
- ③青少年健全育成センター等の活動を支援することを要望する。

5 安全な食材の供給と食育指導

次世代を担うわたしたち徳島県の子どもの食の安全・品質の確保は健康や発育上、最大の課題と考えているところである。給食については、各市町村により、センター方式・単独校方式・デリバリー方式で運用されているが、徳島県として、安全な食材の供給に関する情報を素早く提供し、給食への食の安全が確保できるよう要望する。

- ①学校給食の安全な食材の供給と情報提供を要望する。
- ②食育指導・地産地消についてもさらなる指導助言を要望する。

II 子どもの学力向上に関する要望

1 教員の資質向上と適正配置、学級体制の充実

- ①教員の加配の枠を増やし、柔軟な加配措置及び保護者・地域の理解が得られる充実した教員配置ができるよう予算措置を要望する。
- ②教員がゆとりを持って一人ひとりの子どもと向き合う時間をできるだけ確保できるよう会議出張の精選、事務処理の効率化等の対策を講じるよう要望する。
- ③中学校においては、専科の適切な教員配置を要望する。

2 教育費の確保・拡充

義務教育における全額国庫負担の完全実施を引き続き国に強く働きかけていただきたい。

教育予算については未来の日本を担う子どもたちへの、また国の根幹をなす経費であります。また、いずれの市町村も厳しい財政状況にありますが、教育費予算については更なる拡充につとめ、一般財源化している国からの教材費・図書費等の使途についても検証していただき、各市町村教育委員会に対して適切な指導助言をされたいと考える。

さらに、本来ならば行政で支出すべき学校の施設や備品等の購入をPTA会費から支出している学校もあるため、運営費や教育費などの予算のさらなる拡充を強く要望する。

3 高校入試制度・通学区域・募集定員数の見直し

- ①通学区域については、全県一区を強く要望する。若しくは、重複区域の拡大を要望する。
- ②学区外からの合格者数を第1学区の総募集定員の10%以内とするならば、第2学区の8%を同じ比率の10%への変更を要望する。
- ③第3学区の高等学校ごとの募集定員の8%を第3学区総募集定員の10%への変更を要望する。
- ④特色選抜については、県中学校校長会の要望事項を支持する。

4 特別支援教育の現状と課題

- ①特別支援教育コーディネーターや巡回相談員の効果的運用や適正配置を要望する。
- ②通級指導教室の充実・拡充、適正配置を要望する。
- ③個別の教育支援計画の策定を強力に進めることを要望する。
- ④特別支援教育に関する知識経験を持った教員の増員と配置に配慮し、子どもたちの個性の理解に努めることを要望する。

5 県教育委員会と県PTAの協力・充実

- ①PTA活動においては、教育委員会と県PTA連合会とが余裕をもったスケジュールで充実を図っていくために、計画的に緊密な調整ができるように要望する。
- ②活動内容については、例えば幼小中の研修会ではそれぞれ成長段階に応じた内容となるよう、複数名の講師や、複数の分科会で会員が選択できるような、「会員が行きたい」「話を聞いてみたい」と思える研修会・講習会等を強く要望する。